

(3) 昭和58年6月10日

夏季教職員研修旅行のご案内

中部山岳3コース



室堂から望む立山連峰

立山黒部アルペンルート 代表的な山岳自然公園で夏は登山者や観光客、冬はスキーヤーでにぎわう。

黒四ダム建設によってせき止められた黒部湖、大観峰から望む後立山連峰の景観、室堂から美女平にいたる高山植物群の観察など多彩で雄大な山岳観光ルートである。また、扇沢～黒部ダム＝トロリーバス、黒部湖～黒部平＝地下ケーブル、黒部平～大観峰＝ロープウェイ、大観峰～美女平＝高原バス、美女平～立山＝ケーブルと多種類の乗り物を乗り継いでいくのも魅力のひとつ。

秘境・黒部峡谷 宇奈月温泉から桜平まで、断崖絶壁の間を縫って走る小さな列車、もとは電力会社の資材運搬用として使われたものであるが、現在は観光客用にモデルチェンジ。花崗岩からなる絶壁は山頂から谷底まで1,500～2,000メートルの深さ、まさにスリル満点の景観である。

上高地 上高地といえばまず河童橋といわれる吊橋が有名である。ここからの眺望は、前方に穂高連峰、背後に焼岳がそびえる360度のパノラマを味うことができる。

白根山は活火山で、山頂に東西800メートル、南北400メートルの大噴火口があり、その中に湯釜、水釜、涸釜の3つの爆烈火口がある。山頂から北アルプス、妙高、噴煙をあげる浅間山などの眺望がすばらしい。

北アルプス[立山・上高地]と木曽・飛騨路

木曽路の宿場町散策、上高地、立山の眺望と白川郷合掌村、飛騨高山に人々の生活、風俗を見る。

室堂と高山市内で講師の見学説明
(コース) ①東京駅——(ひかり) ——名古屋駅——中津川駅——馬籠(藤村記念館) —妻籠(民宿泊) ②妻籠～寝覚の床～上高地(散策) —松本(開智学校) —大町(泊) ③大町～扇沢～黒四ダム(黒部湖) —黒部平～大観峰～室堂～美女平～立山～庄川温泉(泊) ④庄川～白川郷～高山市内(泊) ⑤高山(朝市) —名古屋駅——(ひかり) —東京駅

黒部峡谷と能登一周

トロッコでゆく峡谷美の黒部と歴史と風俗と自然美に恵まれた能登半島
輪島漆器の歴史、技術的特徴など伝統産業を学ぶ
(コース) ①上野駅——大宮駅——(上越新幹線) —長岡駅——魚津駅——宇奈月温泉(泊) ②宇奈月～(トロッコ) —桜平～宇奈月～富山～能登金剛～輪島(泊) ③輪島～曾々木～時國家～禄剛崎(狼煙) —喜兵衛どん～中谷家～千里ヶ浜～金沢(泊) ④金沢～市内(尾山神社、兼六園、成巽園) —小松空港——羽田空港

上高地と志賀・蓼科高原

山岳景勝の上高地と高原ルートに乗って志賀、蓼科をゆく
諏訪大社で見学説明
(コース) ①博多駅、小郡駅——(車中泊) ②名古屋駅～高山市内(陣屋跡、日下部民芸館) —乘鞍～白骨温泉(泊) ③白骨温泉～上高地～穂高(禄山美術館) —草津志賀高原ルート～志賀高原・熊の湯(泊) ④熊の湯～白根火山(湯釜) —鬼押出し～信濃追分(一里塚、浅間神社、分去れの碑) —小諸懐古園～白樺湖～霧ヶ峰～上諏訪(泊) ⑤上諏訪～諏訪大社(上社) —中央高速道路～名古屋駅——(ひかり) —小郡駅、博多駅

*コース詳細などは学校掲示用のパンフレットをご参照下さい。

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。
静寂のなかに憩いのひととき。

箱根高原ホテル
電話0460-4-8595(代表)

贈ります、あなたの心にのこる旅

<東急観光>は、旅のことなら何でもお世話する旅の総合デパートです。とくに修学旅行では、学校と連絡を密にして学校の指示に従って、安全・快適で教育効果のあがる旅行ができるように鋭意努力しております。

また、先生方の御意見を参考にした資料作りにも積極的に取り組んでいます。右の表は一例です。営業所に常備してありますのでコース作成等の資料に御利用下さいませ。

東急観光
運輸大臣登録一般第38号

中学校教育の
集約として
南 裕之



昨今、「激動する中学校」とい
うことばに象徴されますが、
中学校には、多くの問題をかか
っております。私は、修学旅行

は、その中につけて、大きな意
義をもつものと考えております。
それなるが故に、教育に強
い関心と深い理解をもつて頂いて
おります多くの人たちが、よ
り実り多い修学旅行について、
研究と条件の開発に、多くの努
力をはらって頂いているものと

思います。私たち、生徒た
ちが中学校で学習したものよ
り確かなものとし、社会生活に
自信と期待とをもつて集まって
いくよう、その内容を研究し、
あらゆる手だてを惜しまことな
くほどしていかなければなら
ないと考えます。(河内長野市
立手代田中学校長)

の修学旅行であろうと、生徒た
ちが中学校で学習したものよ
り確かなものとし、社会生活に
意欲的な教師の姿勢こそ重要で
ある。

藤・馬酔木と
古代人
樋口清之氏の講演
(宇都宮市立陽北中学校長)

するかが問題である。「ゆとり
の具現化のため、十分な時間と
意欲的な教師の姿勢こそ重要で
ある。

県の幼・小学校からの見学など
人気をあつめている。
自身の修学旅行の思い出をだし
なしにしてしまうが、京都府警
察本部では、このほど「修学旅
行の手引き83」をまとめた。
修学旅行の手引きによる
と補導生徒は増加しており、暴
力行為・傷害などの加害生徒七
十人(五十六年・五十一年、喫
煙・飲酒、深夜はいかないなど不
良行為のあった生徒百二十一人、
六十人(五十五人)また恐喝・傷害な
どで被害を受けた生徒十五件四
十五人(十件二十三人)などと
十五人(十件二十三人)などと
なりっている。態度が悪い／生意
気だ／それちがいぎわのにうみ
と/orとも万葉集に数多く詠まれ、
花によせる古代人の心情を汲み
とることができる。(主催大和
文化会、次回「百合と桑陽花」
文化会、次回「百合と桑陽花」
6月18日、新国際ビル)

樋口清之氏の「花の大和文化化」
史 第2回講演のテーマは、藤・馬
酔木。藤はその生命力また
葉物としても神秘の植物として
古代上流人に信仰され、馬酔木
(あしひ)は清潔な花として、
ともに万葉集に数多く詠まれ、
花によせる古代人の心情を汲み
とることができる。(主催大和
文化会、次回「百合と桑陽花」
文化会、次回「百合と桑陽花」
6月18日、新国際ビル)

藤・馬酔木と
古代人
樋口清之氏の講演
(宇都宮市立陽北中学校長)

するかが問題である。「ゆとり
の具現化のため、十分な時間と
意欲的な教師の姿勢こそ重要で
ある。

県の幼・小学校からの見学など
人気をあつめている。

自身の修学旅行の思い出をだし
なしにしてしまうが、京都府警
察本部では、このほど「修学旅
行の手引き83」をまとめた。

修学旅行の手引きによる
と補導生徒は増加しており、暴
力行為・傷害などの加害生徒七
十人(五十六年・五十一年、喫
煙・飲酒、深夜はいかないなど不
良行為のあった生徒百二十一人、
六十人(五十五人)また恐喝・傷害な
どで被害を受けた生徒十五件四
十五人(十件二十三人)などと
十五人(十件二十三人)などと
なりっている。態度が悪い／生意
気だ／それちがいぎわのにうみ
と/orとも万葉集に数多く詠まれ、
花によせる古代人の心情を汲み
とることができる。(主催大和
文化会、次回「百合と桑陽花」
文化会、次回「百合と桑陽花」
6月18日、新国際ビル)

樋口清之氏の「花の大和文化化」
史 第2回講演のテーマは、藤・馬
酔木。藤はその生命力また
葉物としても神秘の植物として
古代上流人に信仰され、馬酔木
(あしひ)は清潔な花として、
ともに万葉集に数多く詠まれ、
花によせる古代人の心情を汲み
とることができる。(主催大和
文化会、次回「百合と桑陽花」
文化会、次回「百合と桑陽花」
6月18日、新国際ビル)

藤・馬酔木と
古代人
樋口清之氏の講演
(宇都宮市立陽北中学校長)

するかが問題である。「ゆとり
の具現化のため、十分な時間と
意欲的な教師の姿勢こそ重要で
ある。

県の幼・小学校からの見学など
人気をあつめている。

自身の修学旅行の思い出をだし
なしにしてしまうが、京都府警
察本部では、このほど「修学旅
行の手引き83」をまとめた。

修学旅行の手引きによる
と補導生徒は増加しており、暴
力行為・傷害などの加害生徒七
十人(五十六年・五十一年、喫
煙・飲酒、深夜はいかないなど不
良行為のあった生徒百二十一人、
六十人(五十五人)また恐喝・傷害な
どで被害を受けた生徒十五件四
十五人(十件二十三人)などと
十五人(十件二十三人)などと
なりっている。態度が悪い／生意
気だ／それちがいぎわのにうみ
と/orとも万葉集に数多く詠まれ、
花によせる古代人の心情を汲み
とることができる。(主催大和
文化会、次回「百合と桑陽花」
文化会、次回「百合と桑陽花」
6月18日、新国際ビル)

樋口清之氏の「花の大和文化化」
史 第2回講演のテーマは、藤・馬
酔木。藤はその生命力また
葉物としても神秘の植物として
古代上流人に信仰され、馬酔木
(あしひ)は清潔な花として、
ともに万葉集に数多く詠まれ、
花によせる古代人の心情を汲み
とることができる。(主催大和
文化会、次回「百合と桑陽花」
文化会、次回「百合と桑陽花」
6月18日、新国際ビル)

藤・馬酔木と
古代人
樋口清之氏の講演
(宇都宮市立陽北中学校長)

するかが問題である。「ゆとり
の具現化のため、十分な時間と
意欲的な教師の姿勢こそ重要で
ある。

県の幼・小学校からの見学など
人気をあつめている。

自身の修学旅行の思い出をだし
なしにしてしまうが、京都府警
察本部では、このほど「修学旅
行の手引き83」をまとめた。

修学旅行の手引きによる
と補導生徒は増加しており、暴
力行為・傷害などの加害生徒七
十人(五十六年・五十一年、喫
煙・飲酒、深夜はいかないなど不
良行為のあった生徒百二十一人、
六十人(五十五人)また恐喝・傷害な
どで被害を受けた生徒十五件四
十五人(十件二十三人)などと
十五人(十件二十三人)などと
なりっている。態度が悪い／生意
気だ／それちがいぎわのにうみ
と/orとも万葉集に数多く詠まれ、
花によせる古代人の心情を汲み
とることができる。(主催大和
文化会、次回「百合と桑陽花」
文化会、次回「百合と桑陽花」
6月18日、新国際ビル)

樋口清之氏の「花の大和文化化」
史 第2回講演のテーマは、藤・馬
酔木。藤はその生命力また
葉物としても神秘の植物として
古代上流人に信仰され、馬酔木
(あしひ)は清潔な花として、
ともに万葉集に数多く詠まれ、
花によせる古代人の心情を汲み
とることができる。(主催大和
文化会、次回「百合と桑陽花」
文化会、次回「百合と桑陽花」
6月18日、新国際ビル)

藤・馬酔木と
古代人
樋口清之氏の講演
(宇都宮市立陽北中学校長)

するかが問題である。「ゆとり
の具現化のため、十分な時間と
意欲的な教師の姿勢こそ重要で
ある。

県の幼・小学校からの見学など
人気をあつめている。

自身の修学旅行の思い出をだし
なしにしてしまうが、京都府警
察本部では、このほど「修学旅
行の手引き83」をまとめた。

修学旅行の手引きによる
と補導生徒は増加しており、暴
力行為・傷害などの加害生徒七
十人(五十六年・五十一年、喫
煙・飲酒、深夜はいかないなど不
良行為のあった生徒百二十一人、
六十人(五十五人)また恐喝・傷害な
どで被害を受けた生徒十五件四
十五人(十件二十三人)などと
十五人(十件二十三人)などと
なりっている。態度が悪い／生意
気だ／それちがいぎわのにうみ
と/orとも万葉集に数多く詠まれ、
花によせる古代人の心情を汲み
とることができる。(主催大和
文化会、次回「百合と桑陽花」
文化会、次回「百合と桑陽花」
6月18日、新国際ビル)

樋口清之氏の「花の大和文化化」
史 第2回講演のテーマは、藤・馬
酔木。藤はその生命力また
葉物としても神秘の植物として
古代上流人に信仰され、馬酔木
(あしひ)は清潔な花として、
ともに万葉集に数多く詠まれ、
花によせる古代人の心情を汲み
とることができる。(主催大和
文化会、次回「百合と桑陽花」
文化会、次回「百合と桑陽花」
6月18日、新国際ビル)

藤・馬酔木と
古代人
樋口清之氏の講演
(宇都宮市立陽北中学校長)

するかが問題である。「ゆとり
の具現化のため、十分な時間と
意欲的な教師の姿勢こそ重要で
ある。

県の幼・小学校からの見学など
人気をあつめている。

自身の修学旅行の思い出をだし
なしにしてしまうが、京都府警
察本部では、このほど「修学旅
行の手引き83」をまとめた。

修学旅行の手引きによる
と補導生徒は増加しており、暴
力行為・傷害などの加害生徒七
十人(五十六年・五十一年、喫
煙・飲酒、深夜はいかないなど不
良行為のあった生徒百二十一人、
六十人(五十五人)また恐喝・傷害な
どで被害を受けた生徒十五件四
十五人(十件二十三人)などと
十五人(十件二十三人)などと
なりっている。態度が悪い／生意
気だ／それちがいぎわのにうみ
と/orとも万葉集に数多く詠まれ、
花によせる古代人の心情を汲み
とることができる。(主催大和
文化会、次回「百合と桑陽花」
文化会、次回「百合と桑陽花」
6月18日、新国際ビル)

樋口清之氏の「花の大和文化化」
史 第2回講演のテーマは、藤・馬
酔木。藤はその生命力また
葉物としても神秘の植物として
古代上流人に信仰され、馬酔木
(あしひ)は清潔な花として、
ともに万葉集に数多く詠まれ、
花によせる古代人の心情を汲み
とることができる。(主催大和
文化会、次回「百合と桑陽花」
文化会、次回「百合と桑陽花」
6月18日、新国際ビル)

藤・馬酔木と
古代人
樋口清之氏の講演
(宇都宮市立陽北中学校長)

するかが問題である。「ゆとり
の具現化のため、十分な時間と
意欲的な教師の姿勢こそ重要で
ある。

県の幼・小学校からの見学など
人気をあつめている。

自身の修学旅行の思い出をだし
なしにしてしまうが、京都府警
察本部では、このほど「修学旅
行の手引き83」をまとめた。

修学旅行の手引きによる
と補導生徒は増加しており、暴
力行為・傷害などの加害生徒七
十人(五十六年・五十一年、喫
煙・飲酒、深夜はいかないなど不
良行為のあった生徒百二十一人、
六十人(五十五人)また恐喝・傷害な
どで被害を受けた生徒十五件四
十五人(十件二十三人)などと
十五人(十件二十三人)などと
なりっている。態度が悪い／生意
気だ／それちがいぎわのにうみ
と/orとも万葉集に数多く詠まれ、
花によせる古代人の心情を汲み
とることができる。(主催大和
文化会、次回「百合と桑陽花」
文化会、次回「百合と桑陽花」
6月18日、新国際ビル)

